

## 奇蹟の療法

昔から、激しく泣き叫ぶことを「火がついたようだ」と形容している。ヤケドは痛るものにきまっていたのである。

また皮膚がハゲたり、ツレたりしている人を見ると一目見て「ヤケドだな」と気がつく位いりしている人を見る。

ヤケドはハゲたり、ツレたりするのが当然のように思われていたのである。

ヤケドの痛みがすぐ止って、ハゲたり、ツレたりせず、今までの五分の一か三分の一の短期間で全快すると言ったら、奇蹟と思う人もある。その奇蹟が光線療法によつて行なわれているのである。

### ヤケドの種類

ヤケドと一口に言つても程度によりいろいろなものがあり、一寸皮膚が赤くなる位のものや焼けただれて骨まで達するものもある。普通は次の三種類に分類するのである。

#### 第一度（紅斑性）

発赤と軽度の腫脹と疼痛があり、二三日で消失する。

#### 第二度（水泡性）

透明な漿液、又は混濁した黄色の水泡を形成し、やがて破壊する。疼痛は甚だしい。

人体を包む皮膚の総面積は約一・六平方メートルであるが、皮膚は単なる入れ物ではなく身

**宇都宮 義真**

## 火傷（熱傷）と光線療法

深部組織まで壊死を起し、化膿伝染を起し易い。組織は知覚を失い、黄色、褐色、又は黒色に変化する。

### 生命にも関する度

人体を包む皮膚の総面積は約一・六平方メートルであるが、皮膚は単なる入れ物ではなく身

起して血圧は降下するのである。ヤケドの治療

ヤケド治療の目的は、感染防護と全身の栄養療法とを主とし保護するために刺戟の少い軟膏を用い炎症をとるため冷湿布を行ひ、最近では化膿予防のた

めにペニシリソ用いる位で日数を経て自然に恢復するのを待つだけの頗る消極的なものである。

ハゲてもツレても、それで全快と言わて一生肩身の狭い思いをさせられていたのである。

民間療法として馬の脂を塗ったり、馬齧薯をすつつけたりすることが行なわれてゐるが、少なくとも傷のあるものには刺戟も強く、感染を起し易く乱暴である。

水泡はなるべく破らず、三日位い照射してから汁だけを出し

膿汁もそのままにして照射する

と内部から肉芽が発生して、周囲から自然に表皮を形成してする。

日前後で全快するのが普通である。

ヤケドをした直後のものと、既に数日を経過しているものを区別し、ヤケドをしたばかりの時は、患部を稍々長時間照射することを要する。カーボンは何時も手許にあるもので

カーボンでも手許にあるもので

に区分されているが、火傷と凍傷も熱と寒冷との相違だけ

で、第一度（紅斑性）、第二度（水泡性）、第三度（壊疽性）

ヤケドをすると腎臓障害を起して乏尿や無尿を來し、肝臓の機能は低下し胃腸の粘膜はカタムラの萎縮炎を起し、敗血症を起して離れて照射して段々と接

るが、患部を二十分乃至三十分照射することを要する。幼児などはヤケドをすると十日位いは泣き通して夜も眠らなくて困る

ものであるが、サンモアを照射するとその場で眠り夜もよく安眠するから家族の者も助かるの

(内) 分泌系疾患（ホルモン異常）がビタミンDの代謝に影響して、カルシウムやリンの代謝平衡を阻害し、くる病や骨軟化症を起す事実はよく知られています。このうち、閉経後の女性に多発する骨多孔症とビタミンDとの関連については既に述べた。

今回は、治療薬として広く使われている、副腎皮質ステロイドホルモン（ステロイドと略）のビタミンDに及ぼす影響から始めよう。

(ス) テロイドが薬剤として使われる前から、副腎機能の異常亢進によって発症する、クッ

シング病を通して、ステロイドの産生過剰がカルシウム代謝や骨代謝を障害して、骨多孔症を起すことは明らかにされています。それ故ステロイド療法が長期にわたれば、骨多孔症を起すであろうことは予想されていました。そして今までには、ステロイド療法の数ある副作用の中で最も頻度の高い、対策に苦慮する副作用として、一般的にも知られています。

(二) の副作用は、特に関節リウマチに於て、病状の悪化に決定的に作用する。既に本紙において再三述べた如く、リウマチは罹患関節における骨破壊

が特徴であるが、ステロイド療

法によって促されることとは、現在では疑う余地がない。そして、

当初リウマチ特効薬として登場

したステロイドが、その秀れた

対症的効果にもかかわらず、リ

ウマチ治療に使用すべきではな

いとする意見に共通する論拠な

のである。

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×



## 八、太陽光と各種カーボンの分光分布

医療用カーボンの生命線とでも言うべき分光分布について記します。光線療法の理論に関心のある方は、熟読し良く理解して下さい。

が前提になっていますから、実際にはもう少し目に見える面積は小さくなる訳です。これを示したのが明るい時の枠内にある影の部分です。これに対し、暗い時の目に見える波長の範囲は変ります。これが暗闇に慣れる現象で、波長の短かい方がよく見える様になります。

### 1 太陽光と視感度

ところが、光線療法の立場から言えれば、目に見えない部分の光線(電磁波)が医療や健康増進にはたす効果が大きい事が分っています。これが明るさと効率

太陽からの電磁波の分布を計算がしやすい様に波長20ナノメートルを1ナノメートルと略、1mmは1cmの1千万分の1、ミリミクロンと同じ)毎に平均して示しますと、



### 揖斐川電気工業・青柳工場

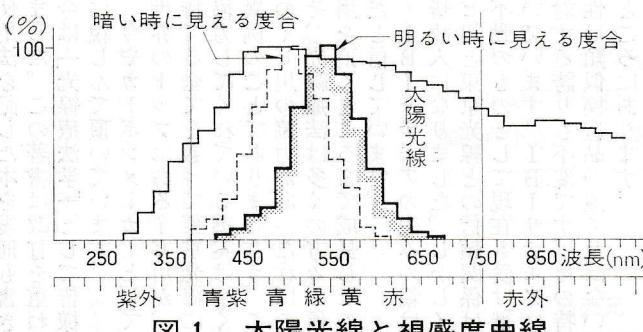


図1 太陽光線と視感度曲線

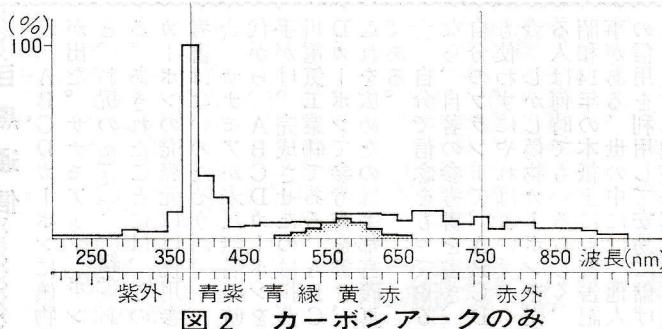


図2 カーボンアーケーのみ

ます。これをスペクトル分布と言ふことは前述しました。この内で目に見える部分を示したものを見度曲線と言います。図中には、見える度合として示しました。即ち太陽からの電磁波の内、目に見えるのは僅かにこの曲線に囲まれた部分のみです。更にこの様に視感度曲線は電磁波の強度が各波長とともに同じ強さの時に目に感じる強さ

が前提になっていますから、実際にはもう少し目に見える面積は小さくなる訳です。これを示したのが明るい時の枠内にある影の部分です。これに対し、暗い時の目に見える波長の範囲は変ります。これが暗闇に慣れる現象で、波長の短かい方がよく見える様になります。

### 2 各種カーボンの発光スペクトル分布

カーボンアーケーのみ及びサンモア ABCD カーボンを電流弱

合、電圧、電流を一定にしてあ

りますから、スペクトル分布によって見るのは限られた部分ですから、特別な方法を用いないと、光線を医療や健康増進に使用した場合の効果は比較出来ません。

(1) カーボンアーケーのみ

しかしカーボンアーケーを全体として見た場合は、温度放射に

囲まれた面積を同じにしますと、より赤い部分とルミネセンスによる青紫色が混合して、太陽光に比べて目で見る明るさに近い白色になります。

このカーボンアーケーの特徴は、太陽光に同じにした場合の医療や健康増進効果は、むしろ太陽より期待できるとすると、且つ最大放射域が太陽の500nmから700nm以上の赤外領域へと効果を単純に比較できますが、ここでは一番強度の強い波長域を100として比較してあります。

図2はカーボンアーケーのみ

このカーボンアーケーは、温度放射の一番大きいところは、仲々信じてくれません。

その上に希望波長を増大させ、より一層の効果をあげられるようになります。

サナモア ABCD カーボンは、

温度放射とルミネセンスが混在させています。サナモア ABCD カーボンは、

しか分つて貰えないことは、素直に認めなければなりません。

例え鎮痛効果のように分り易いことでも、使ったことのない人は、仲々信じてくれません。

何も知らない薬は信じても、光線は疑いの目でみます。

こんな時、愛用者ばかりを読むと、勇気が倍加します。どん

はカーボンアーケーの温度が太陽の温度に比べて低いためです。

下さるようお願いします。

投稿のお願い

サナモアの効果は、体験者は、直接認めなければなりません。例えば鎮痛効果のように分り易いことでも、使ったことのない人は、仲々信じてくれません。

例え鎮痛効果のように分り易いことでも、使ったことのない人は、仲々信じてくれません。

何も知らない薬は信じても、光線は疑いの目でみます。

## IBIサナモアについて

I B I サナモア A B C D カー  
ボンがイビ川（揖斐川電気工業  
㈱）で造られていることはよく  
御存知の通りですが、これまで  
イビ川の東京光線に対する厚志  
これに伴う特異な関係を述べた  
ことはありませんでした。しか  
し、A B C D カーボンの偽物が  
現われ、その警告文を掲載する  
に当り、この点を皆様に御理解  
頂く必要性を痛感しました。

昭和10年代の始め、光線療法  
の普及に情熱を傾注していた前  
所長、宇都宮義真は、世界情勢  
が陥悪化する中でカーボンの輸  
入が中断することを恐れると共  
に、優れた治療効果を持つ希望  
通りのカーボンを造るには国産  
化しないと考え、当時本邦に  
おけるカーボンのトップメーカー  
イビ川と誠心誠意交渉を行っ  
たのです。イビ川も殆んど市場  
もないのにこの要望に応じてく  
れ昭和13年に初の国産カーボン  
が I B I サナモア A B C D カー  
ボンとして登場したのです。こ  
のように両者の協力によって I  
B I サナモアは生まれたので、  
既存のカーボンを買ったのでは  
ありません。

以来イビ川は、大戦中も、あ  
るいは敗残の中でも、最初の約  
束通り利用者の期待に答えてく  
れたのです。一方、宇都宮義真  
は、I B I サナモアカーボンの

今は「光線療法」として皆様に親しんで頂いています。今やカーボンメーカーとして世界のトップにあるイビ川が、持てる全てをもって東京光線に協力してくれている事実は全く異例のことでありましょう。このイビ川の協力があったらばこそ、光線療法は多くの方々の信頼を頂くところまで成長したのだと信じています。

I B I サナモアの生みの親は皆故人になりました。しかしイビ川と東京光線との信頼関係は不動のものとして現在も受け継いでいます。I B I サナモアに對する誇りも不变です。その特性は類似模造品の遠く及ばないところにあります。

自からほとばしる熱情をもつて、光線療法に挺身するのなら何人といえ協力は惜みません。しかし他人の書いた参考書を利⽤してただ黒い棒に A B C D とつければよい程度の思い附きで私どもの信用が傷つけられることは堪え難いことです。偽物のカーボンは所詮偽物です。効果も極めて不確な上、芯が飛んだり湿気をよんだり技術的にも未熟なカーボンです。

私どもは、イビ川のカーボン技術の粹と、宇都宮義眞の心がこめられた I B I サナモア A B C D カーボンの名譽を、断乎として守り通してゆく所存です。

☆ ABCDカーボンに偽物が出た。サナモアカーボンと、お尻の色まで一緒である。あきれたことには、このカーボンの発売元には使用参考書はないのだそうだ。

☆ サナモアが未だ無名の時代から、ABCDカーボンを手がけ、完成させたのは揖斐川電気工業㈱である。ABC Dカーボンで参考書を書き、これを広めたのは宇都宮義真である。

☆ 自分で信念をもってやるなら、自著の参考書を書き、自分のブランドで、ABCDも使わずにやればよい。

☆ しかし偽物カーボンを売る人は何時でもいるらしく、昭和14年の本紙上にも警告記事がある。世の中には、他人の信用を利用して安易に儲けようとする破廉恥漢は、有名ブランド商品を貞似る人からも分るよう、多分絶えることはないのだろう。

☆ 人のふんどしで相撲をすると言う言葉があるが、さしずめ外観だけ似せた粗悪なイミテーションを売つて恥じない人は、その典型と言うべきだろう。

☆ 会員諸兄にお願いしたい。揖斐川製を表示するIBMマークのないABCDカーボンに気付いたら、速刻当方まで御一報頂きたい。私達は、信用を重んじ、名譽を守るためにどこまでも戦う決意である。

光線療法が、人々の健康に寄与し得ることとは疑いないにも拘らず、現状の医療体系は薬物手術に偏り、光線の効果についての一般的な認識はなお不十分と言わざるを得ません。このため、人々の健康を願うと共に光線療法について啓蒙・普及活動を行う目的で、サナモア中央診療所内にサナモア光線協会を設立しました。

廿二七丁光緹協会  
趣意書

協会では、会員を募集しております。  
入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

サナモア光線協会

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18  
サナモア光線協会 TEL(03)793-1528  
七一一五三二二